

一般社団法人 横浜すぱいす 2023『みんなのWell-Being』目指して!

横浜市教員や校長時代、手を差し伸べても少し先にいる子どもたちに手が届かない。

退職するときに「できることを、できる人たちで、できる時に」を合い言葉にして夢がある仲間と取り組んできました。コロナ禍の中、子どもの体験不足や先生方の働き方改革、子どもにかかわるキッズクラブ等を応援したい!『みんなのWell-Being』を目指して、2023年度も取り組みます。

代表理事 北村 克久

1. 食育事業

『第8回横浜の子どもが作る弁当コンクール』 ★☆☆お弁当は生きる力を育む「宝箱」☆☆★



2022年度は「横浜の地場産物を使って、〇〇さんと一緒に食べたい弁当を作ろう!」がテーマでした。市内 77 校から 1,639 作品の応募があり、その中には防災や SDGs への配慮を込めた工夫もあり、子どもたちの発想の豊かさに脱帽です!

また、二次審査会や表彰式はオンラインで応募学校や保護者に繋げており、好評です。



弁コン書類審査



弁コン二次審査



給食レストラン

(理事:岩本かをり)

2. ゆりかごプログラム

『給食レストラン』 ~給食を、お子さんと一緒に食べてみませんか?~

夏休みに横浜市ニツ橋第二地域ケアプラザで 2 回実施しました。学校給食経験者が久しぶりに腕によりをかけて、食べてもらいたい給食献立の再現に奮闘しました。父親と参加したお子さんからは「お父さんに給食を教えた!」と得意気な感想もいただきました!

『スマホひろば』 ~スマホを通して情報科学専門学校の学生と語ろう~

5 月からの第一月曜日に、ケアプラザの一室でスマホを介して、日常、気になることを聞いています。使い方教室ではなく、互いに語り合う居場所になることを大切にしています。

『お花や香りを楽しむひろば』 ~国際花博覧会に向けて、花を通して楽しむひろば~

ケアプラザの一室でお花のアレンジメントや香りを創る「香楽」を通して、花の魅力を分かち合っています。この場は、お花や香りを通して自分らしさを大切にしたい居場所です。

(理事:横山多摩姫)

3. 横浜 F マリノス『横浜こどもふれあい DAY』支援事業

○横浜 F マリノスの「2019 横浜こどもスポーツ基金 横浜こどもスポーツふれあい DAY」以来、コロナ禍のため中止となり、現在スポンサーを探して検討中です。

(理事:相藤康生)

4. 実りの会『Slow Life & Learning ゆっくりとした人生のあゆみと学び事業』

○大学生、現役の先生と遊びと学び(ライフとワーク)の実践提案を中心に、語っています。

(理事:茂野賢治)

5. プログラミング教育事業『未来につなぐ、未来を生きる』

○「10年後には今の仕事の半数がロボットになる」と言われてから、すでにロボットが各家庭を始め身近なところにあふれています。コロナ禍で「5G」が広まり、学力が新しい自分の世界を広げると同じように、PCと人間とのコミュニケーションツール、プログラミングは新しい可能性を子どもらの未来へ広げてくれます。2時間から3時間、もっとやりたいと集中する子どもたちの姿は圧巻です。



小学校全学年、個別支援級、中学校での職業体験の実践は、この6年間で延べ6,500人以上、延べ570時間以上支援をさせていただき「悩むよりは相談」と喜ばれています。器材、人材を揃えて無料で職員研修、出前授業を実施していますのでご活用ください。

(理事:古川三千代)

6. 瀬谷区・保土ヶ谷区放課後学習支援事業

○「わかった!できた!」の声と子どもたちの笑顔が増えるように、区役所と連携し瀬谷区と保土ヶ谷区の放課後キッズクラブで活動しています。各キッズクラブに中心となる学習アドバイザーを配置し、宿題等を中心として毎週1回程度の学習支援に取り組んでいます。

子どもたちの学びの関心を引き出ししていくために教材の工夫や多様なプログラムの開発に取り組んでいます。今後もアドバイザーの役目を充実させ、よりよい放課後のあり方を追究していきます。

(理事:齋藤信一・深山喜美子)



7. 保護者グループ支援事業『子育てミーティング』

○大切な子どもたちの将来に向けて、「親子で、家族で、今をどう生きるか、どう育むか。」

そんなことを、安心して考えながら過ごす、伝える、そのお手伝いが出来ればと思っています。

(理事:岸本靖子)

8. 『人材バンク・すばいすの集い事業』

○すばいすの活動は、年々パワーアップしてきました。現在も、いろいろな取組で学校・家庭・地域などと深く関わっています。そんな、たくさんの仲間がさらに繋がっていくことを願っています。

(理事:嶋田 優)

9. 『傾聴講座教職員支援事業』

○「傾聴」とは、「耳を傾けて熱心に聞くこと」であり、相手の話をじっくり理解しようとするカウンセリングの技法です。傾聴の基本を学び、「聞き上手な教師」を育てます。無料です。

(理事:谷水幹枝)

10. はまみらい子ども会議支援事業

○「豊かな体験フォーラム」として5年間の活動の後「はまみらい子ども会議」として小中学生が主体となってSDGsの実現を目指す活動を3年間続けてきました。コロナ禍の状況の中にあって、on-line 会議と月に一度のSDGsアクションを行ってきました。現在のメンバーは小中学生が35名、大人が15名です。

昨年、2022年度の取組として、

- ★横浜のバラ・はまみらいの配布
- ★ウクライナ支援動画の作成と募金活動
- ★よこはま未来ワークショップに出展参加
- ★横浜の農家でのヘイケボタル復元活動
- ★金澤文庫芸術祭に出展参加に向けた活動
- ★秋のばら会「薔薇の精霊」紙芝居発表
- ★横浜市共創フォーラムで活動報告
- ★地産地消・食育・フードロス0集会開催
- ★5月・12月 野島研修センターでの合宿
- ★年間活動を振り返り6年生の卒業を祝う会
- …等の活動を積み重ねてきました。



(理事:尾上伸一)

11. 花壇支援事業



目的は、学校花壇等における植物栽培支援です。花壇支援員約 30 名(2023年3月時点)が、横浜市内の小学校、中学校、幼稚園、保育園、特別養護学校、その他、教育に関わる公共施設等で植物栽培のお悩み解決。

- ①Y150(横浜開港150周年)を記念して植栽された、バラ「はまみらい」他、敷地内にある花壇、植栽の管理
- ②生活、総合、理科など、植物栽培を伴う授業、栽培支援の形態
- ③専門家からのアドバイス、相談受付を取り次ぎ
- ④植物栽培を伴う授業へ講師派遣、新規花壇支援員、随時募集中!
- ⑤職員、栽培委員、ボランティア団体活動等との連携
- ⑥栽培知識と技術向上のため研修会、視察見学会、交流会などを開催しております。

(理事:新井裕之)

12. 海外交流支援・防災教育支援事業

○【海外交流支援】中国の中学校や、教育関係企業、団体等から、日本の学校や人材との交流を望む声があり、よりよく実現するようコーディネートをしています。互いに文化を理解し、先進的な部分を学び合い、日中の子どもたちにグローバルな見方・考え方を育むことを目指します。

○【防災教育支援】防災の基本から、防災マニュアルづくりまで、出前授業や学校支援を行います。

- ・防災出前授業 児童・生徒向け(基本的な防災行動から地域の災害リスク分析など)
- ・防災教育、総合的学習の時間等への支援・助言
- ・職員防災研修 避難訓練の改善 地域防災拠点支援技能訓練 防災倉庫の資機材使用法研修
- ・PTA 対象 防災研修 講演会

- ・ハザードマップの読み方と時系列防災行動計画(タイムライン)の IT を活用した全員参加型研修
- ・放課後キッズクラブでのリモート防災プログラム「キッズ防災教室」提供(火災・地震・風水害等)



早めの避難を は・た・す

防災知識ポイント	子ども防災リーダーのちしき
はざーどまっぷ	こうずい(きけんと「ひなんぼしよ」は、ハザードマップでたしかめる。インターネットもしらべることができます。
たいむらいん	マイ・タイムラインをつくり、どの「けいかいレベル」からどこにひなんするかきめておきましょう。

(理事:鷲山龍太郎)

13.ESD推進事業

○ ESD は Education for Sustainable Development の頭文字をとったもので、「持続可能な開発のための教育」と訳され、そのねらいは「持続可能な社会づくりの担い手の育成」です。そして SDGs(17の国連持続可能な開発目標) 全ての目標達成の鍵と言われており、環境・国際理解・食・キャリア等幅広い取組です。2020年度より新規事業としてWWF ジャパンと連携し、「地球 | 固分の暮らしを目指す・OPL教育プログラム」の冊子を編集し、ESD講座の実施を進めてきました。



(小学校での研修会 2021年 on-line)



(中学校での研修会 2020年)



(研修テキストとデータCD)

OPL 教育プログラムではプラスチックごみ・地球温暖化・森林の減少と生活様式等、グローバルで解決が必要な課題を取り上げ、総合的な学習の時間・生活科及び、理科・社会科等の授業で利用できる CD 収録の映像資料やワークシートも紹介しています。また、市内小中学校や教育研究会でこのプログラムを活用した研修会や、「SDGsと関連付けた ESD 入門」の研修会も開催しています。

(理事:和泉良司)

國武 恵(業務執行理事) 関 克枝(会計担当理事) 勝島英貴(監事) ほかに社員 15 名

<社員及び個人・企業・団体等賛助会員の募集>

横浜市内及び近郊の大中小企業の地域貢献事業等を掘り起し、本法人の事業目的を達成するために、皆様のお力をお借りしたいと思います。

【社員:年会費 10,000 円】

【個人賛助会費 10,000 円(一口以上)】【団体賛助会費 50,000 円(一口以上)】



一般社団法人 横浜すぱいす 事務所

〒246-0011 横浜市瀬谷区東野台 16 番地 5 TEL・FAX 045-304-1414

Mail : k.kitamura@y-spice.com HP : <http://y-spice.com/>